

繪本
豐臣
勲功
記

二編

九

4 5 6 7 8 9 170 1 2 3 4 5 6 7 8 9 180 1 2 3 4 5 6 7 8



繪本豊臣勲功記二編九之卷

目録

木下秀吉きよひさ 朝時あそと 臨和りんわ 田山でんざん

属城將しゆじやう 降参かうさん 泰たい

坂井久藏さかいひさざう 與建よと 新源八しんげんぱち 戦せん

属塙しゆたけ 援久えんきう 藏ざう

豊臣記二編



本下加算池攻先奪於城

属 讓功先秀

六角父子退去親吉守山

属 之雲留守

繪本豊田勲功記二編卷之九



江戸 八功舎 徳水剛補

木下秀吉朝時和山属 城將降参

勇猛を描くと云々... 木下秀吉朝時和山属 城將降参... 和山と一様... 徳水剛補



和山其作



木下明智
 心と競く
 和山其作の
 両方へ發軍を

豊臣討二

佐の取有小の軍。重さん。大丈。何とそ。東小。吾。居。き。と。所。て。指。六。程。怪。し。い。よ。く。
 足。下。の。兵。士。を。う。り。但。所。加。勢。を。の。ふ。ま。て。和。田。山。攻。小。向。え。り。飲。を。所。念。の。
 及。び。り。さ。ぬ。秀。吉。子。勢。の。中。に。攻。臨。さ。ん。と。句。論。あり。然。る。が。親。信。寺。山。の。
 陣。口。に。沖。隊。伍。と。て。な。ま。る。べ。一。方。一。軍。城。の。加。勢。も。お。ら。ば。便。よ。う。と。て。備。を。こ。ま。
 ら。の。兼。備。を。終。り。ひ。入。り。と。所。一。か。ま。り。大。將。信。長。孫。吉。高。が。例。の。大。旗。を。つ。け。
 と。お。さ。ま。り。れ。ば。明。智。光。秀。と。呼。出。さ。る。と。藤。吉。高。が。命。を。條。汝。の。何。と。お。り。て。
 と。訊。ね。玉。ふ。小。光。秀。兼。信。已。前。より。兩。軍。の。評。定。を。熟。く。諦。聽。つ。ら。ま。り。小。
 づ。ま。の。説。も。ま。た。回。り。所。一。か。ま。り。中。小。佐。も。本。中。刀。祿。の。説。を。必。定。
 勝。利。懸。ひ。ま。り。ん。と。し。小。信。新。衆。を。が。ら。先。陣。小。部。合。さ。ま。り。て。備。身。が。初。度。の。
 城。攻。せ。他。物。小。現。て。ま。る。本。意。を。備。本。中。和。田。山。小。向。え。り。冷。心。長。助。を。
 依。攻。せ。評。定。を。た。ま。る。小。光。秀。も。時。限。を。破。城。を。攻。臨。一。備。下。と。前。ま。り。

小柴田。こ。ま。を。喜。び。心。中。小。お。り。や。う。本。中。一。個。小。女。城。を。攻。臨。さ。ん。律。除。う。ら。む。
 光。秀。を。加。り。り。て。秀。吉。が。功。を。減。さ。ま。り。心。あ。さ。く。も。言。を。進。め。り。ゆ。さ。ぬ。明。智。
 が。説。む。所。の。い。り。も。小。所。ゆ。り。本。中。一。隊。の。兵。士。と。り。て。兩。城。小。向。え。り。こ。ま。り。人。
 馬。の。疲。勞。も。最。嘆。う。ら。し。其。作。の。方。に。光。秀。小。を。其。さ。ま。り。懸。さ。ま。り。と。り。て。
 と。信。長。刻。め。り。然。ま。を。連。袂。臨。し。て。ま。り。妙。あり。秀。吉。の。あ。ま。り。と。り。て。西。人。
 同。格。の。重。さ。を。ら。め。然。ら。ば。評。定。を。さ。ま。り。ま。り。も。秀。吉。の。何。と。お。り。と。同。く。
 せ。ら。む。本。中。評。附。明。智。を。説。ぐ。怖。く。い。行。時。も。速。く。二。の。城。を。せ。め。
 臨。一。六。用。武。士。の。肝。を。冷。さ。ま。り。と。お。り。又。光。秀。小。を。備。ひ。此。小。破。城。の。
 所。為。多。り。隨。分。中。心。奮。を。懸。こ。ま。り。其。作。の。和。田。山。城。と。合。し。ら。む。と。録。
 さ。ら。は。り。本。中。評。自。然。と。も。最。疎。落。し。て。備。一。小。信。和。田。山。を。落。地。お。け。あ。り。が。
 使。陣。中。一。兵。會。を。と。り。然。ら。ば。當。り。り。ま。り。中。小。其。作。城。を。攻。せ。ま。り。と。

前より小明智の新参ありて強き是を論じもせむ城責新様うけける此破
 の新指揮頼入と冑中の頼小柴田の依怙あり。明智が功を本下小勝せんと
 かりひらき其作攻小加えりて明智を助る分撥りて。信て本下冑言所ハ
 加治田福田小指揮を傳へ此を急の御士軍を招集するおど小山く急くの
 案内者六百余人小既どり遠軍小奇討を謀合せ加治田隼人福田大炊
 青山影七全小助長は半之西ハ油口久助。堀尾茂助遠七人々大將と
 十日の夜中刻より和田山の後背小廻し西園の関は産を所バ取らせよと
 教諭させ。悄々地小つるもは後小六百余人の號も。徑路を執るて登りけ
 るが圍うあらんとする月夜に元山の高峰を隈なく照らす小路険しれど
 行ぐららむと。漸く後小到りぬるが。此急の岩石肩せありて。樵夫の通ふ
 徑もあり。然ども。演進小執あるる急軍異ともなき。跳越く。遂小和田

山は絶頂小登新。此急より城中を沈視小崖より淵を降がら。六百余
 人の御士軍ハ本下謀の陣小通しきき感ド。いつの隙小破人の勢
 地理とも見覺へる。不思議きよと怪き。備又退平は攻口ハ本下
 が自急と千余人。淺野彌兵衛中村小助本下小市角。大澤全水輝
 次賀小六。全又十舟依重の刻頃より。麓小おし進を。大燦と極大連ね
 曉の六軍又小攻よるべき。跡を復せ藤吉舟の。本陣小立て。約せし時刻
 の急あり。起人むと待居る。然むとに和田山の峰中ハ。六角兼
 復一旗。山中山城も長俊田中治教大浦吉政。二人を大將と。之
 千余騎小て對敵守。影小海兵衛。城をがら。りとも。双の要害を急バ
 織田勢四方の大軍と。此も。怒り。氣色なく。兵濃勢を急く推進せよ
 に別武士の功譽を見せんと。勇氣を懸す。待ところ。十一日の夕。

進軍ハ林麓小陣とあり。燎の煙霧々々。東西噪々。同々。由ハ城中小
 石津野あり。まをせ引込防んと。虎口を々々。持固め。大木大石を流
 隙際もる。此まを分撥なり。山中素より軍勢。雪將あり。八方小
 配り。北面の路。隘々として。不。如。案。同。の。他。國。軍。の。冬。う。り。得。ば。ん。や。然。共
 準備せざんば。あら。と。五百余人を引分。北面の方。う。ち。守。ら。せ。又。奉
 丸ハ青木。本。言。蕃。元。を。首。領。と。し。て。五百余人を。軍。勢。を。南。面。の。別。入。大。事
 多。ま。田。中。吉。政。と。合。隊。小。あり。二。十。余。騎。小。て。固。め。ら。う。茲。小。後。田。の。軍
 公。の。子。の。割。也。あり。頃。本。中。明。智。一。同。小。陣。と。推。察。し。和。田。山。を。以
 一。裏。あり。儲。藤。吉。宗。秀。言。ハ。先。達。ハ。林。麓。ハ。隊。安。る。言。せ。と。合。隊。と。あり。
 諸。兵。小。指。揮。之。閑。と。作。り。鉄。炮。と。放。ち。荒。山。の。半。暗。ま。を。操。揚。一。が。城。中
 小。の。ま。を。目。入。ら。う。ら。小。美。苗。ハ。流。小。流。と。こ。れ。今。や。と。待。や。と。小。本。中

再び諸兵小指揮あり。や。中。腹。小。登。り。と。ま。バ。隊。出。と。指。さ。と。徇。ら。し。と。公。者
 此。小。路。止。る。城。中。原。待。と。い。ふ。も。敵。も。之。も。進。ま。さ。ら。由。ハ。待。却。の。延。ま。ハ。軍。公
 輩。漸。く。邊。野。の。心。と。し。ま。と。こ。ま。や。と。進。小。而。と。見。合。し。流。を。流。し。と。し。り
 乃。本。中。腹。ハ。稍。雲。時。時。と。流。め。く。在。ら。し。と。示。り。や。若。び。噪。起。喚。叫。で
 單。騎。急。小。推。進。る。体。と。あり。然。れ。も。更。小。進。ま。も。中。ら。せ。新。の。如。く。と。し。り
 律。之。夜。小。乃。と。し。り。こ。ま。や。と。城。中。原。と。被。ら。せ。携。小。勸。し。り。左。右。と。し。り
 月。夜。と。流。天。迫。く。多。し。と。時。分。と。し。り。と。藤。吉。舟。人。數。と。操。揚。城。小。を
 づ。喊。と。作。り。多。流。と。し。り。と。荒。嶺。と。し。り。こ。ま。や。と。攻。る。と。い。ふ。と。城。中。原。に
 之。氣。も。漸。く。流。力。も。脱。し。り。亦。あり。と。相。與。葉。ぐ。の。小。と。抽。搭。く。軍。も。也
 新。て。ま。と。背。面。ハ。向。ひ。し。り。五百余人の個々。ハ。領。人。本。中。の。指。揮。小。と。し。り。流。小
 我。本。と。一。つ。と。の。肩。を。せ。登。ら。せ。し。り。と。何。法。用。と。も。謂。ざ。り。し。り。唯。不。審。く。と。し。り

ありたるが加治田稲田備指揮と井構と連を組せしむと小細と本下の奇
 計を成す。是も小登りて城中を襲ふに終に間やと隔るも六月は先小
 旗を添へ刺敵くつりも更あり。掌小把り如く親分らふぞ各こも小
 のりも面圓は流漢を頼ひ括る小や曉るる東雲の空小映りあま
 の手炸本際く小翻る旗の景色もさるく。本懸小胸く城の志次等
 小近く所ゆきもさるや面門の合戦をす下めり。然る此方も背門せりも
 破るもとやあまふ。六百余人更く井樓の上小立並び大箭を射懸る
 彈雨霰こもたため小速連ね刺敵くを焼起らる。あせんとする軍
 も慌忙さすあまする。石を投じ山より。あせんとす。あせんとす。あせんとす。
 搦手せ守る。五百余人。壁小あまふ。見入る。あせんとす。あせんとす。あせんとす。
 追ふの音へ驚き。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。

の雅公們守小急り。平過をさるるあせんとす。あせんとす。あせんとす。
 速く火を焚き防が玉。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。
 行さる。本丸より。三月本雲霧出火。あせんとす。あせんとす。あせんとす。
 雲霧へり鳥銃。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。
 惘惑る。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。
 本下部の勇士達。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。
 又怪小少。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。
 一個も残らぬ。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。
 突例。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。
 脚あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。
 百余人。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。あせんとす。

豊臣記二編巻之九

七



木下勢
井樓を
和山の
背方を
焼墜を



木下の勇士
和山の
面方と
乗破る

豊臣記二編卷之九



豊臣記二編卷之九

西將公為刀仗と才小希せと。本下の陣小降急とて秀吉とを待受ふし。
 二人とる信本陣へ到りたる小時を不慮の執り。強も之時中をふさ
 しも強し和山を攻落し大將二人を陣急を自公小負無事三
 かく十分の勝利ありとて第一の勳功とぞ感ぜらるるなり。本下を攻めし山中
 田中の兩人と大將の第一導出。見急の式を執りて六君も陣急の事
 あり。本下攻めたるアと命出さるるふより。後急の如く本下の部中とを
 たり。山中の一角突へ陣急とて。人の和急を取相ふ。田中の當方小止
 りと。忠勤せらるるよと命せらるるなり。

振井久義與建教源八戦 属塙援久藏

種歎ふの事を別しとて。獅子小双むんとととも並ぶこと候もを然やど
 小明智十兵衛光秀の秀吉と功を争ふ。其作城を妻人かこめ本下

と同し時刻小大將の本陣を進發しるに柴田佐久回加勢とて。寅
 下刻より箕作源山の是まで推去る。此手先秀城攻の方術を
 工支成せりども。夜中の攻便悪うらん。曉を待て城を白刃出して
 謀らるやと。隊伍を固めて急小動う。勝家信盛兩人も。あま小同
 てあり。柴田佐久回が壯士輩。恐止るべからず。夜明けに付
 こんや。大將の指揮を受。とも軍小勝あり。外へあるも。進めたるめと
 り。信小指氣の急士二千余人。就進んで攻上り。城を急を流し打落
 單騎急小臨さん。と。勢と見ゆるより。城は天將吉田出雲守重光
 孫出雲守重忠の長子あり。信小指氣とゆふ。日尾流。此も急が。頼
 急。大木大石と。振下し。防ぎたる程小柴田佐久回が急士軍心
 急と進。待て。後急起て見。下を急部源八兵衛秀明。急の急急の急。

諸君を敵と標おられ是とて之を殺して棄散さんとす。小
 自谷五百騎を率い本戸を圍く斬り出。源八公保秀明に別
 命の勇士といひちかふる。この御者あり。心懸小進で入るおぼこも
 大將もあき場なき。この御者あり。隊也もそぬ行方ぞ。只ひ
 敵小隊はせと喚叫で撃て斬り。希願後例右舒右巻。難起に絶
 西に公保田佐久間が魁隊の勇士們散く小斬らる。坂下さく。遊ばる。
 遊ばる。おのり。千ふ小柴田佐久間の二千余騎を坂下中を退散。い
 さんで城へひた返す。勝家此をきて思ふ。も声に放人又お怒り。情り
 公輩が懐軍。敵小流。氣をいける。本は朽感さ。先を公保改登りて
 る。建部面を扱ゆる。さんと自兵を列置し。指揮し。る。と先秀志。だしと
 推止。方僅。河勢の邊。帰せし。の。や。自軍の幸ひ。る。素より。敵を。引

停ん。い。の。設。し。こ。ろ。あ。る。小。建。部。が。お。り。出。る。自。軍。勝。利。の。瑞。お。多。り。
 阪。下。論。し。と。兼。る。過。お。り。六。詮。お。れ。の。ど。と。諫。小。流。く。勝。家。も。怒。を。法。
 め。て。其。り。て。茲。小。坂。井。右。邊。將。監。治。尚。の。長。子。久。藏。成。重。し。り。る。
 あり。生。年。僅。十。四。歳。用。數。隻。の。兒。が。ら。性。質。大。膽。不。敵。小。て。院。小。幸。四。郎。の。力。
 を。射。へ。ま。し。射。所。の。御。を。得。り。七。八。の。比。より。し。て。武。藏。を。好。む。御。流。を。執。練。を。
 十。歳。小。と。物。戦。り。よ。れ。首。指。て。歸。る。遠。道。も。父。の。借。り。大。將。の。軍。陣。
 小。中。久。藏。成。重。唯。一。騎。家。来。二。人。と。や。連。て。夜。は。同。小。幸。陣。を。抜。出。し。其。作。山。
 の。麓。小。川。合。戦。の。さ。か。を。尋。む。公。保。田。佐。久。間。の。隊。の。多。軍。建。部。源。八。公。保。起。る。と。
 視。ま。く。取。ま。せ。と。風。説。を。听。て。驟。断。を。り。源。八。を。討。て。員。軍。の。能。を。ん。
 と。自。後。之。人。其。他。の。城。隙。を。く。濟。勢。を。小。城。を。方。僅。軍。を。收。め。門。内。へ。入。る。と。

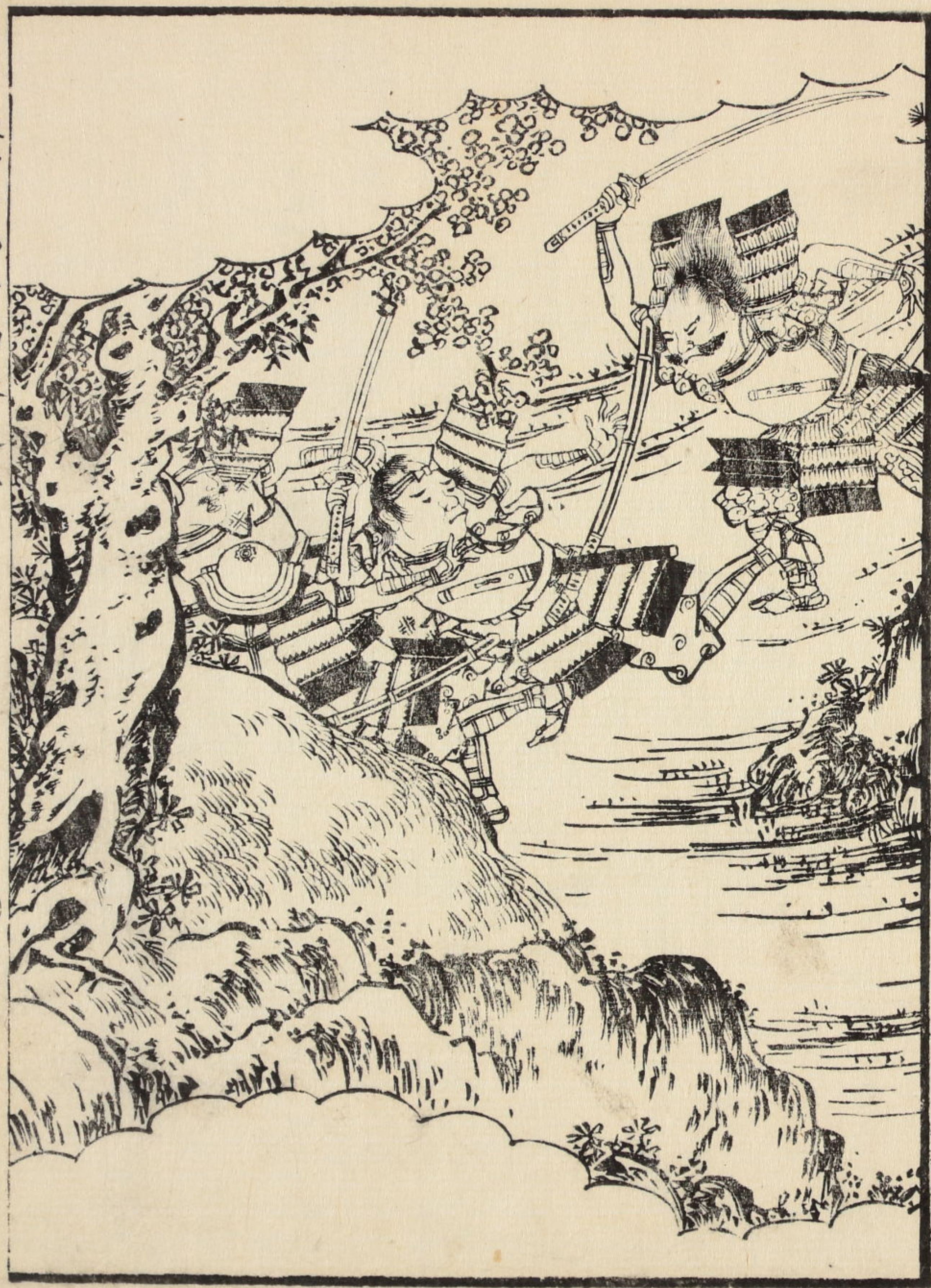
あり。人々此へ馳りて扇を閉ぢりて、城を圍む。城を圍むを標き、若くはやくふ
 峰をさぐる。今、曉の軍小うら勝て功をせし。雷立の山より、さきかき、
 を所まやや。然るに、紫田佐久間の、狭平軍を斬り、玉ひり、切功を
 も、謂まじせめて、侍士一人を、殿扱ひて、大將の、實檢小の、後の、世の、行
 州、ゆも、さ、く、ま、(お、東、ま、の、織、田、家、の、武、者、既、小、て、坂、井、右、近、將、監、政、尚、の、嫡、
 子、同、苗、之、藏、成、重、生、年、十、有、四、歳、幼、推、ある、ま、ど、も、名、ある、は、た、ど、や、性、く
 城、中、を、ら、も、出、て、我、と、傷、負、を、決、し、る、小、銃、を、ら、も、織、田、侍、士、の、ま、あ、り、
 せ、と、し、身、を、高、ま、ん、と、高、ら、う、小、呼、を、ら、も、ま、い、建、部、源、八、右、衛、尉、安、藤、小、有、て
 ち、ま、を、所、村、寔、を、用、て、よく、見、る、に、十、二、四、歳、の、小、冠、者、あ、ま、い、六、これ、を、對、款
 小、お、出、ん、も、か、と、お、げ、あ、う、と、う、ち、弁、て、返、言、も、せ、ま、あ、り、る、せ、久、藤、大、小、後、を
 二、三、郡、候、ある、個、々、を、跡、を、た、ま、ふ、て、事、し、者、を、出、迎、も、せ、と、ひ、た、執、務、指、し、
 武、道、も、知ら、ぬ、若、輩、ぞ、や、諸、ハ、致、事、挑、合、と、ま、る、の、侍、士、と、軍、を、ら、樹、
 せ、知ら、ぬ、や、然、る、に、武、士、が、怖、ら、き、は、初、推、ある、ま、ど、も、獅子、の、子、ハ、親、小、似、
 と、も、劣、い、せ、ど、遠、景、一、助、う、け、ら、ま、て、表、景、の、力、に、初、う、ら、ま、い、と、推、把、て、矢、を、番、
 ひ、使、間、の、板、之、的、當、小、截、て、放、て、お、あ、ま、ま、ま、と、使、間、板、碓、九、と、射、敵、一、遊、
 四、五、寸、射、穿、ら、り、樽、小、あ、り、る、侍、士、輩、を、ま、と、見、て、う、ち、勝、き、事、小、勝、ま、い、
 遠、ら、驚、か、り、と、ま、と、感、た、ら、源、八、も、久、藤、せ、九、人、あ、ら、ま、と、思、ひ、や、ま、
 目、ハ、小、冠、者、の、口、實、く、罵、り、轉、せ、親、も、懼、し、一、當、あ、り、際、よく、バ、を、授、
 ん、の、と、只、一、騎、門、外、小、馬、を、馳、出、し、備、も、小、人、の、割、う、る、余、り、小、不、意、の、
 可、憐、ら、ま、い、我、等、が、を、諒、小、る、は、ひ、武、士、の、ま、と、教、て、ら、ま、い、使、城、中、へ、投、ま、い、
 う、と、所、く、久、藏、若、兵、と、笑、ひ、漸、芳、志、の、條、過、分、あり、と、言、来、槍、を、推、こ、う、
 針、馬、を、馳、せ、て、擲、毫、る、建、部、の、繼、を、ら、ち、分、を、お、ま、ま、と、大、平、を、排、け、く、を、向、ひ、

あり。人々此へ馳りて扇を閉ぢりて、城を圍む。城を圍むを標き、若くはやくふ
 峰をさぐる。今、曉の軍小うら勝て功をせし。雷立の山より、さきかき、
 を所まやや。然るに、紫田佐久間の、狭平軍を斬り、玉ひり、切功を
 も、謂まじせめて、侍士一人を、殿扱ひて、大將の、實檢小の、後の、世の、行
 州、ゆも、さ、く、ま、(お、東、ま、の、織、田、家、の、武、者、既、小、て、坂、井、右、近、將、監、政、尚、の、嫡、
 子、同、苗、之、藏、成、重、生、年、十、有、四、歳、幼、推、ある、ま、ど、も、名、ある、は、た、ど、や、性、く
 城、中、を、ら、も、出、て、我、と、傷、負、を、決、し、る、小、銃、を、ら、も、織、田、侍、士、の、ま、あ、り、
 せ、と、し、身、を、高、ま、ん、と、高、ら、う、小、呼、を、ら、も、ま、い、建、部、源、八、右、衛、尉、安、藤、小、有、て
 ち、ま、を、所、村、寔、を、用、て、よく、見、る、に、十、二、四、歳、の、小、冠、者、あ、ま、い、六、これ、を、對、款
 小、お、出、ん、も、か、と、お、げ、あ、う、と、う、ち、弁、て、返、言、も、せ、ま、あ、り、る、せ、久、藤、大、小、後、を
 二、三、郡、候、ある、個、々、を、跡、を、た、ま、ふ、て、事、し、者、を、出、迎、も、せ、と、ひ、た、執、務、指、し、
 武、道、も、知ら、ぬ、若、輩、ぞ、や、諸、ハ、致、事、挑、合、と、ま、る、の、侍、士、と、軍、を、ら、樹、
 せ、知ら、ぬ、や、然、る、に、武、士、が、怖、ら、き、は、初、推、ある、ま、ど、も、獅子、の、子、ハ、親、小、似、
 と、も、劣、い、せ、ど、遠、景、一、助、う、け、ら、ま、て、表、景、の、力、に、初、う、ら、ま、い、と、推、把、て、矢、を、番、
 ひ、使、間、の、板、之、的、當、小、截、て、放、て、お、あ、ま、ま、ま、と、使、間、板、碓、九、と、射、敵、一、遊、
 四、五、寸、射、穿、ら、り、樽、小、あ、り、る、侍、士、輩、を、ま、と、見、て、う、ち、勝、き、事、小、勝、ま、い、
 遠、ら、驚、か、り、と、ま、と、感、た、ら、源、八、も、久、藤、せ、九、人、あ、ら、ま、と、思、ひ、や、ま、
 目、ハ、小、冠、者、の、口、實、く、罵、り、轉、せ、親、も、懼、し、一、當、あ、り、際、よく、バ、を、授、
 ん、の、と、只、一、騎、門、外、小、馬、を、馳、出、し、備、も、小、人、の、割、う、る、余、り、小、不、意、の、
 可、憐、ら、ま、い、我、等、が、を、諒、小、る、は、ひ、武、士、の、ま、と、教、て、ら、ま、い、使、城、中、へ、投、ま、い、
 う、と、所、く、久、藏、若、兵、と、笑、ひ、漸、芳、志、の、條、過、分、あり、と、言、来、槍、を、推、こ、う、
 針、馬、を、馳、せ、て、擲、毫、る、建、部、の、繼、を、ら、ち、分、を、お、ま、ま、と、大、平、を、排、け、く、を、向、ひ、



坂井久藏
勇を魏ふ
建部
源八小
戦向

豊田新二編
巻之九



塙長八 たけながやち
 巨勇抽 こゆうひき
 坂井 さかい
 久藏 ひさざう
 助 すけ

追つ返らぬ挑む久藏馬と飛をと。疾風よりも程烈しく。諸の陣岡
 やくこと霹靂よりも最速し。得の源八理合子。のれ余とや大を力ひき
 況密込槍と樓着より。發せと斬まて久藏成重馬と追せ。源八公清。
 厥知ると右腕との。掣捕へんと逐蒐う。久藏免やと見へる。久藏小
 林藤の方より。一個の歩らる。織田殿の籠めて。槍の長八と号蒐ま。一
 文字小走来り。建部とまて久藏を救出し。稍まじ火水とあり。我
 らう。勢る下へ織田の先陣城と作て推登ま。城の中よりも五六百坂の尖へ馳
 り。長八と中小追捕。逆徹塵小せよと。揚起る。槍の尖へ小隙間へあり。と長
 八とにも怯ま。と。恰も芒穂と存るが。斬拂と。今朝と戦ふ。結
 ども敵の大勢あり。自方の長八と獨脱小免く見へる。西へ森とた。坂
 右近明智が計設小随て。阪の半へ馳登り。此伴と入る。も長八殿と

みあはと援けよ。指揮する。ふと小森坂井。魁隊の公士と蒐る。長八もふ
 ぐひ。精力と得。扱く返り。敵中と右より。た。希より。後二と夜。激を巡じ。
 逐小自藏ひら。扱自軍の大勢小軍と傳る。引退と休息し。
 本十加善作。攻先を棄於城。属。龍功先秀。
 眼の千里の遠さを照して。己の睫と見る。事あま。と。明智十兵衛先秀
 へ。と。謀り。戦ふ。と。と。も。本十秀吉。と。瞬息小恐る。人の間と射ら。と。律
 槍小量起る。と。謂ひ。儲も森坂井の。一。余。強。八。槍。の。長。八。と。援。中。一。
 城を。と。ま。て。戦。ひ。ら。る。が。城。中。こ。ま。と。沈。現。て。吉。田。長。治。信。田。の。諸。士。者。自
 公。小。指。揮。と。傳。へ。こ。ま。あ。く。と。語。く。奈。陰。突。と。ら。て。福。起。る。織。田。殿。こ。ま。と。防。ぎ
 う。ね。森。も。坂。井。も。傳。へ。と。と。社。務。路。小。う。て。取。ま。を。城。の。公。士。の。勝。小。な。り。こ。る
 殺。小。さ。ん。と。の。と。突。氣。と。吐。い。追。蒐。と。大。將。吉。田。制。と。ま。ま。と。身。も。東。小



光秀の軍行と
 一見一見
 秀吉頼み
 其謀計を
 了察せ

光秀の軍行と

関入を退散するが、あつた小幡浦へと進み、森坂井へともあつた
 奇意を謀るも、故意と萌きて逃り、阪の守備を過るる。遠駒木下
 孫言舟ハ既小和田山とを繋ぐ陣を伴ひ、本陣小川を奉じて仔細を
 直地小川を伴ひ馳着り、先考之を以て着て大川潤るるや、是中小和
 山と落地あけりやと伺ふ。然作被城ハ所の奥中にて、さりとて、
 小陣小安岡と此方の言た右に侍り、まとも侍候作、新見、森、小、系、
 禊、所、予、更、の、配、部、ハ、調、ひ、つ、ら、ん、と、尋、ま、ふ、令、は、こ、と、く、大、半、ハ、成、控、つ、ま、り、假
 多う、由、是、所、從、せ、よ、目、軍、の、先、鋒、敵、小、進、ま、す、途、を、改、ま、り、て、来、り、し、
 方、僅、二、三、町、引、よ、せ、る、思、ひ、の、隨、り、と、尋、ま、る、と、本、下、へ、や、ま、喜、意、を、悟、り、十
 多、湯、少、ハ、新、平、堀、を、く、ま、り、事、小、降、り、新、羅、儀、あ、ら、ん、乃、更、が、軍、に、車、也、
 後、東、調、練、し、り、軍、由、ハ、所、隊、小、属、ら、し、假、し、の、令、小、先、考、が、勅、の、來、り、

新、芳、志、之、也、然、ら、ん、令、小、隨、ら、し、と、西、勢、都、會、二、十、余、騎、を、左、右、二、翼、小、隊、供、を
 後、身、の、り、る、孫、二、次、舟、遠、人、と、情、々、地、不、振、り、奇、密、と、告、ぐ、重、く、や、目、ん
 る、が、如、く、森、坂、井、が、敷、き、と、る、と、味、名、軍、進、寇、く、來、ら、を、正、中、伏、開、く、と、み
 不、通、し、男、と、強、接、し、ら、ん、响、左、右、の、隙、を、看、つ、ら、ん、蒐、擿、起、る、の、あ、ら、ん、
 城、を、あ、ら、し、揚、つ、ま、り、響、急、小、攻、登、り、城、戸、隙、小、通、り、あ、ら、し、使、急、投、お、し、ま、り、
 本、下、勢、を、一、個、も、糧、ま、り、と、沙、等、よ、く、し、心、得、く、の、あ、ら、し、と、假、接、を、つ、ま、り、と、物
 申、後、と、よ、く、再、承、し、是、掛、り、よ、り、に、場、を、一、十、余、騎、を、掃、部、し、待、小、程、を、城
 名、軍、森、坂、井、の、軍、勢、を、襲、進、落、小、進、り、と、威、勢、ハ、さ、ら、ん、と、掬、空、の、屋、を、
 在、像、く、あ、り、大、將、吉、田、出、雲、守、長、進、か、り、と、過、さ、り、逃、せ、く、と、鞭、を、揚、大、言、
 声、を、指、揮、と、る、由、ハ、然、ら、ん、と、邊、近、と、先、考、視、と、る、一、响、こ、と、よ、り、と、喜、号、
 の、を、院、敵、つ、ま、り、左、右、二、翼、の、一、十、余、人、筒、先、と、り、て、放、菟、山、と、も、出、向、を、勢、

夕して、張小僧、若退、暮々、城を大に惶然、右に在り、進上りて、先
 秀正、魁小僧、推而、能懐、虎怒、之、強、之、ま、こ、ま、小僧、ひて、森坂井
 一、度、小僧、と、率、返、一、據、小僧、ん、ぞ、改、ら、る、然、も、禱、し、事、を、先、秀
 急、も、遂、蕙、を、城、を、奪、ま、て、本、戸、を、ひ、れ、入、ら、る、言、田、も、こ、ま、を、知
 ら、る、小、や、路、の、險、阻、小、僧、止、り、自、公、を、容易、退、せ、ん、と、御、せ、ら、る、防、戦、
 夕、色、の、明、智、が、公、も、心、の、信、お、着、投、こ、と、得、ら、る、出、雲、の、事、ふ、と、て、
 自、公、を、城、中、小、僧、投、制、敵、く、と、固、め、ら、る、遠、响、本、下、秀、吉、の、明、智、小、僧
 一、五、百、余、人、の、公、士、け、ら、ち、よ、う、一、個、の、侍、士、堀、際、ま、り、馬、を、ま、ま、り、暴、接
 小、僧、ひ、當、城、是、今、陥、ん、と、ま、る、小、僧、城、へ、ら、る、面、の、何、を、憑、り、小、僧、防、戦、を、
 之、速、く、降、り、助、命、を、し、父、母、妻、子、も、面、命、を、ま、り、速、く、心、を、決、せ、ん、
 城、の、ら、と、も、小、僧、僅、親、而、微、塵、小、僧、と、呼、ら、る、本、下、部、の、五、百、余、人、一、度

小出と嘆ふ。城を進め推して、更小を意を得、森坂井より、
 即ち、軍のあまのこを、如朝の朝といふら、と、亂も待て、彼侍士、當城
 實小僧、去、る、形、を、説、り、玉、を、て、尚、ま、一、番、説、り、本、下、孫、吉、舟、が、跡、の、勇
 士、蜂、波、賀、福、田、堀、尾、か、ん、と、遠、人、と、ま、り、ま、り、城、中、ま、ま、り、ま、ま、り、と、
 疑ひ、備へ、進、め、計、畧、を、て、自、軍、の、心、を、惑、さ、る、一、部、量、の、朝、小、僧、を、
 一、と、長、浪、傳、人、を、巡、り、駛、卒、を、烈、ま、ま、り、の、下、一、個、の、大、漢、露、出、を、進
 公、計、討、田、畧、を、ら、ん、實、を、見、入、り、と、い、ふ、信、小、僧、人、を、捕、へ、踏、倒、し、一、刀、小、斬
 殺、す、お、り、ひ、も、去、ら、ぬ、事、を、進、め、城、中、殊、小、僧、章、強、勢、の、事、と、い、ふ、謀、も
 多く、之、十、余、人、の、勇、士、達、ぬ、れ、連、く、破、て、旋、る、に、い、ろ、ろ、之、強、も、遮、也、と、大、是
 地、願、ま、る、説、を、藏、持、ら、る、五、多、計、標、布、城、の、上、小、僧、固、し、う、ち、り、謀、戸、を
 破、ら、る、破、本、下、が、五、百、余、人、面、も、振、ら、る、異、口、同、音、小、僧、一、番、強、く、と

呼ぶもく島地小籠入れ。こま小續ひて森田田明智もと由小籠入れ。城
 公もまてく警頼み。敵とあり。六城公小似。自軍とあり。六城公を斬傷
 せし小出雲守も竹果散半残。さきころ公を率ひ本丸のうちへ籠入。此
 当途と固ゆる。光秀初て討罷。公提の討罷も斬て本中小先を合れ
 怒もど今さら籠方多く切て本丸を強奪。遠背勝せしとてやと頼
 小鉄軍を起起て本丸の構柵を搦合。公と小忽一角を崩し。ころ言田も今
 拒挽小途多。一先城を圍逼。與駛卒の命を助けを。と心せ改して櫓
 小登り射窓より傘を掲出。降参のよと呼ぶ。ころはさ。光秀信頼を
 雲時結めて。重を頼と祈し。むに城を助命し。あまら。六城を。後
 のさ人と解り小光秀詞律を陣へ伺ひ。ふ。参り。小光織田殿
 異義なく解させ。あ。依り。評定。は。む。さ。と。出。雲。ち。へ。傳。へ。ら。る。や。え。

重光出陣。小観悦平。城を圍て鉄軍を出。然して原小吉田父子
 小光も連多をい敷くと親善寺山へ退き。諸光秀八本丸を兼受。制
 敵く。せ。あ。ら。さ。め。り。區。の。公。小。こ。ま。と。守。ら。せ。其。作。為。城。一。つ。り。と
 在陣。是。つ。じ。時。己。の。剣。を。過。り。り。り。あ。ら。さ。め。り。小。下。部。小。一。番。系。哉
 せ。ら。ま。し。光。秀。更。小。信。ら。む。の。助。智。評。半。二。合。次。部。之。宅。取。之。解。り。方。田
 久。在。陣。と。呼。出。し。い。ろ。あ。ま。さ。は。口。腐。ら。る。や。く。と。城。小。を。提。率。軍。と。善。考。せ。る。こ
 ざ。や。と。叱。責。さ。れ。六。回。一。回。俺。們。能。あ。ら。城。中。へ。情。入。の。催。も。僅。小。個。計
 小。て。外。小。へ。は。一。輩。も。み。然。と。陣。さ。あ。ら。ら。六。禰。の。謀。略。を。合。せ。ん。と。權
 旋。る。と。本。へ。の。間。小。光。本。下。部。大。提。率。を。密。投。發。出。て。信。由。へ。俺。們。が。常。侍
 小。成。ぬ。と。ま。り。し。ら。光。秀。も。本。下。が。真。逆。方。術。の。石。思。後。さ。よ。と。舌。を。巻。て。そ
 怖。ま。り。り。己。割。本。下。が。明智。小。光。連。城。小。入。り。方。術。を。謂。ふ。光。秀。吉。明。智。が

陣小引。謀の根を向小味方の軍勢敗走。是謀計の功あり。この
 小忌投の心は、厭ふべき光秀の軍勢に、敵小終らして、き准十備あけ。こ
 思ふ、優小の者、指らまほし。此謀あり。あり。おんが、落城の事、ひなひて、後日の
 妨とありぬ。願ふべき、光秀、面目を失ひ、ある害心、を捕まんも、知る
 くらを、備又、城攻たり。おんが、光秀、驕慢の心、生ず。後の意、を醒し。
 然ら、備が、慢心、を醒し。後日、の、事、を、得る、小、知、と、輝、波、を、城、尾、に
 面、小、着、投、の、計、思、を、謀、合、せ、光、秀、小、意、を、見、透、さ、ま、お、難、言、の、醉
 小、信、せ、吉、田、依、知、智、が、先、陣、を、坂、下、を、退、走、し、時、を、脱、小、輝、波、が、
 堂、の、城、中、へ、投、を、あ、ら、る、前、あり。こ、こ、難、不、を、重、重、と、て、依、を、本、家、に
 合、色、あり、お、城、を、更、小、見、外、は、お、光、秀、も、陣、中、より、あ、ま、ら、の、人、の、脱、出
 ころ、と、知、る、陣、を、一、懸、して、本、下、の、三、十、余、人、城、外、小、あ、る、お、お、人、と、隊、首、を、合

願、が、う、小、藤、吉、舟、が、標、布、の、色、は、吹、貫、と、據、の、上、へ、推、進、し、お、本、下、が
 高、名、を、得、誰、も、こ、こ、と、知、ら、ざ、ら、ん、然、も、秀、吉、こ、こ、と、り、つ、て、自、達、し、功、を
 せ、と、城、責、の、大、將、ハ、光、秀、あり、明、智、の、功、あり、と、稱、稱、し、衆、も、亦、一、卒
 陣、も、披、露、し、る、藤、吉、舟、が、大、意、量、實、小、を、意、と、謂、ふ、一、諸、織、田
 殿、も、陣、小、ま、し、お、して、其、化、落、を、と、祈、し、ゆ。本、下、の、智、を、出、さ、ま、共
 小、保、實、あり、る、小、を、光、秀、御、面、目、と、施、さ、し、お、こ、こ、も、心、中、本、下、が、奇、計
 小、思、ま、い、く、こ、こ、と、慎、ん、を、驕、慢、の、色、を、顯、さ、ま、こ、こ、も、名、の、始、末、都、て、お、
 藤、吉、舟、が、心、の、儘、お、あり、お、れ、ら、る、陣、神、と、を、謂、ん、ん、天、と、や、い、ん、の、神、通、も、
 得、ら、る、が、如、き、古、今、を、双、の、名、將、あり。然、れ、ど、小、織、田、殿、の、和、田、山、を、作、落、を、
 し、ま、ま、と、ま、ま、く、諸、將、の、功、勞、を、感、賞、さ、し、め、至、し、お、坂、井、久、義、十、四、歳、小
 一、と、建、部、源、八、景、清、と、挑、を、合、自、軍、の、武、威、を、増、さ、し、其、軍、功、の、功、績、を、さ、し、

坊長八郎止るね信長の陣小多り。帯田小属て音上りし遠くは
 坂井久花ことき身見の勢小ありながら建部源八多湯と合戦せし
 こと不審小おがさき信よし。是非多し律小信ども。近來朽感なド作
 开も久花の始末小終つる小居精しくごんごる也。只頼朝ふあり。彼
 児もトわ所を陣せ只一騎小て強出眞作の方へうごうこと最誠しく
 致せし。小居坂井の護せつけ。あつひ来り信を又まうとく。物の端掃
 せしやゆ。作城へを登る。初雅の人の事。先と渠小信く走登
 樹後小潜びて久花が拳動を窺ひ居りし。が城小向うて致しりふし。
 如くの事ありて。後建部と合戦つる。松遠次守を獲り。然もまが
 相應の所。後安あり。これ律小ごん下假小居原素坂井父子小ゆの好も
 多しといども。身代の果ありし律の遠ま。懼を催て。渠が氣力を減し。も

せが君の所為最惜く。そまとも好見のみ。坂井親子が本意あつる。彼
 此推量つらう。身の障を顧もせ。言小及催あり。と信實をりて。助提
 せし。信長初く位下た。ひく久花ゆ。今せあり。所並へ。出さ。深公。諸
 と軍の始終を同せ。至ふふ。そ。各。り。尋常。あら。初雅。と。ま。も。怖。を。信。長
 心中の頼母。と。と。所。感。賞。ま。ぬ。と。新。加。二。十。石。を。既。行。ま。次。小。長。八
 と。る。出。さ。さ。と。く。と。久。藏。を。執。持。と。渠。が。武。切。を。あ。ら。し。し。と。も。殊。勝。の。詞。を。命
 あり。侍。士。小。米。揚。る。ひ。搦。圍。右。忠。と。草。わ。ら。る。長。八。而。目。身。小。余。り。五。俵。を
 搦。地。一。祥。悦。み。し。所。を。退。出。り。る。と。响。坂。井。右。近。政。尚。ハ。我。子。小。過。分。に
 忍。賜。あ。る。こと。と。も。長。八。分。執。持。あり。と。帯。田。り。こ。ま。を。兼。介。り。地。小。長。八
 が。許。小。到。り。と。ま。と。も。深。切。の。情。を。謝。し。長。く。好。を。結。ぶ。べ。と。我。名。の。一字
 を。彼。小。賜。へ。尚。之。と。号。ら。せ。り。

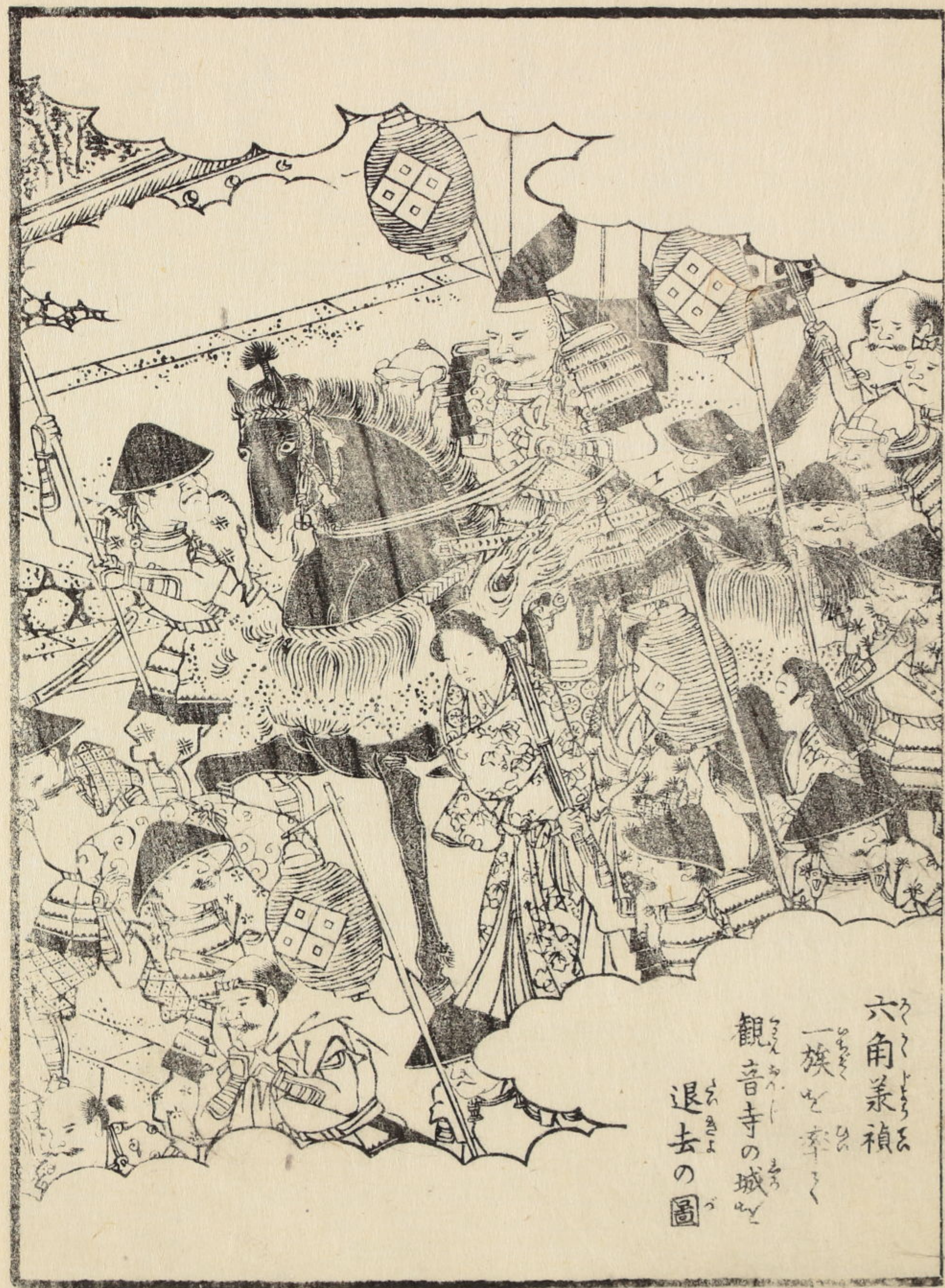
此は室右衛門高之の尾羽羽栗郡地若輪東村の人の
 一と武術を能く水練せり。ト七の時信長おはす

性質大酒をよみ身修るまで立身せむ。実小武士の慎むべきあり

二、南父子退去親善寺山属之雲留守

嗚呼至るる所藤吉郎の大志せりて。江南の地を謀ること百指百當を
既小真作和田山を暫時小落せし。其日も九月十二日。午の上刻小至るぬるが
よりいよいよ攻むとや。と評決せらるるを藤吉郎。和田山真作落城せし。傳
國中の事。知るべからむ。速く友軍小大を放ち焼拂ひ至るべし。然るも當國
の謀主ども。兩城落城の事を。恐る。恐怖の心を懐くべし。勝病神さ小句引の
諸下の城。さし。小退去。念は生れ。こまを。功を。速く。御
小。今日。小。の。を。軍。と。休。る。べし。さ。あ。の。安。後。の。討。は。え
と。勅。め。る。小。隨。ひ。多。ひ。ま。和。田。山。真。作。と。燒。せ。ら。る。然。し。親。善。寺。山。へ。使
者。を。遣。え。し。兼。領。父。子。の。ふ。さ。ま。る。る。等。遠。く。新。公。方。義。昭。君。を。遣。し。新

勅度。一。ぬ。せ。の。遂。居。之。好。と。漸。進。落。あ。ら。う。為。し。信。長。所。魁。つ。ま。つ。ら
づ。死。命。を。被。り。濃。尾。の。諸。軍。を。催。使。し。此。を。祭。向。て。作。六。角。家。小。兵。將
軍。より。恩。賜。美。酒。の。家。あ。ら。う。に。ま。君。恩。を。忘。れ。ず。一。遂。居。小。合。解。せ。ら。る。こ
條。を。乘。り。て。乳。の。毒。を。ら。真。作。和。田。山。を。隨。し。此。上。の。直。小。を。交。わ。し
進。せ。り。ふ。さ。ま。も。一。端。の。不。義。を。悔。し。除。岐。城。を。閉。き。名。駕。を。送。へ。と。を
ま。つ。ら。前。非。を。言。ふ。む。し。一。願。を。成。し。小。兵。將。時。小。推。進。一。戦。の。の。と。小。城
を。一。奇。微。田。の。種。威。を。さ。り。ふ。さ。ん。且。小。君。御。の。義。を。ら。義。言。小。敵。ま。る
軍。へ。逆。賊。其。力。の。不。義。を。あり。又。又。道。の。義。を。尚。不。離。う。の。不。義。小。與。を。死
人。道。の。君。臣。と。本。と。を。誰。の。君。を。殺。し。さ。の。好。松。米。御。小。後。を。教。代。お
續。の。名。家。を。佐。六。角。の。氏。と。て。不。義。小。與。一。不。忠。小。後。小。忽。小。亡。矣
せん。傳。勅。死。く。も。後。味。も。一。種。恩。意。せ。ら。ま。て。逆。言。を。べ。し。と。重。し。送。る。小。本



六角兼禎
一族を率ゝ
観音寺の城に
退去の圖



下より別小使士を添らきて、兼業親懇せし事あり。いふもあし七依く本
 家の長久らんことと思ふ。いふ言せり。親音寺より兼業親父子をせむめ
 諸士一同小物に著け醒る如く、兼作和山の日もあらば、落城せしこと全
 織田家の武威智謀諸家小勝せしことあらば、天道の助る不人道こそ、後
 の理あり。と、漸く思得る機合より、信長の使節到着と、頗る理解せ
 親まし。有係小難面くも、疑待り。最町、寧小懸對せらば、此河邊、穉ハ比
 方より、昂刺、重皇、一と。信長は使者を遣して、后兼親諸士小ゆふ
 こと、さきさき、當城へ、敵を引込んこと、未代まで、の恥辱あり。然と、降
 せん、穉も、今更面目、小似り。去來、さう、バ、此城を、退出して、敵小、微、説も
 こと、を、やと、と。之、雲、新、た、建、つ、尉、喜、友、を、殘、入、道、父、子、當、敵、の、ら、も、小、性
 初、雅、ハ、先、ん、ま、を、取、り、の、も、取、敢、を、石、敷、の、城、一、を、落、行、る。諸、儀、田、殿、法、本

陣中、使者の帰りと待つけ。諸、説、い、う、小、と、回、せ、る、あ、小、兼、親、父、子、の、懸、對、様
 先、違、ら、と、い、又、小、う、り。最、親、も、る、近、邊、を、河、邊、各、の、此、方、より、昂、刺、重、一
 あ、げ、ん、の、訓、小、と、信、と、言、状、を、信、長、を、遣、し、つ、い、ぬ、こ、も、然、も、あ、ら、と、今、
 せ、ら、せ、藤、吉、舟、所、傍、小、ま、て、明日、の、君、の、河、本、陣、を、親、音、寺、の、後、を、
 の、さ、ん、兼、親、は、さ、う、河、邊、を、前、へ、あ、げ、ん、と、接、投、せ、し、邊、城、あ、ら、ん
 不、存、り。本、城、落、去、惟、り、た、小、相、城、の、と、あり、惟、と、も、隙、を、ら、せ、し、て
 恐、く、岡、本、小、懸、作、ら、ん、然、ら、六、十、日、を、過、さ、せ、し、て、河、上、は、瀧、あり、と、言、は、し、
 り、ま、ば、信、長、世、小、も、喜、ば、し、げ、ん、と、後、を、曉、さ、せ、ま、あ、小、羽、を、十、二、日、晴、酒、は
 あり、あ、ら、小、兼、親、の、言、を、去、り、河、邊、を、親、音、寺、の、城、中、より、申、渡、小、後、を、河、邊、の、人
 教、邊、を、つ、り、り、惟、の、結、く、こ、ま、を、窺、つ、兼、親、入、道、又、を、せ、た、め、廿、五、日、初、雅
 の、個、が、次、是、賦、用、果、を、持、運、を、我、邊、ま、と、落、失、ら、と、泣、伸、あ、ら、小、信、長、大

小感こかんくもひ木下きのしたを重おもく下くだり小於せうく一宮いちみや守まもり結むすの違ちがひあり。と悦よろこば
 觀音寺くわんおんじへ入いり城しろありと總そう軍ぐん勢せいと率ひき後ごへ林はやし鹿か小せう近ちかき視みえ方かたつ橋はしのし示し
 體たいと肥あひせ。運うんねる。鎧よろい刀やいばの胆はつの光ひかり照てり流ながる。軍ぐん勢せいの勢いきほり。俣はり
 然しかども大だい將しょう兼かね領りやうより果はたの諸あれと退ひききの事ことを既すでに後ご伸のびありし。心こころ
 心定こころやす敵たての計けい略りやくして斯かくる見み様やうと多おほくありん。速すみ小せう駭かい取とりと指さし揮なり。運うんと
 情なさけを軍ぐん勢せい絶たつとん。と。本もと下くだり急いそ小せう推おし判はんぬ。大だい將しょう既すでに退ひきき。と。も
 誠まこと小せう佐さ木きのし城しろあり。治ち止とり。名なを思おもひ。勇ゆうもさ。も。と。う。ら。ざ。らん。や
 小堀こぼりと。り。て。人ひと軍ぐん小せうと。引ひき。多おほく。あり。富とみ易やすの。こと。お。や。め。さ。る。を。席せき心こころ
 の奉ほう勅とくあり。响おとの過あやまち多おほく。と。人ひとありん。隊たい也やと。交まじり。と。進すすと。玉たまと。田でん其その見みん
 とも。と。も。耳みみ小せうも。言いふ。ま。ま。と。横よこ紙かみ破やぶりの。壯じやう士し輩ばい。何なに奈な然ぜん事じの。あ。ま。さ。き
 う。ま。づ。高たか流ながと。船ふね兼かね。只ただ一ひと橋はし小せうと。推おし進すすと。小せう城しろ申まをす。音ねも。せ。と。鎮ちん

亦またと。あり。なる。由よし。進すすむ。の。よ。く。競きやう競きやう。者ものこそ。人ひとあり。空くう城じやうあり。と。懸かり。ひ。あ。せ
 ぞ。と。の。小せう佐さ木きと。進すすむ。と。城しろ中ちゆうへ。小せう威いを。作つくり。城しろの。方かた射や窓まどと。さ。り。用もち
 け。と。高たか流ながと。船ふね兼かね。射や出で。散さん々ざ小せう防ぼう濟さいあり。と。進すすむ。の。か。り。設たてり。ぬ。事こと由よし。大だい小せう周しゆう
 章しやう業ぎやう起おこ。輝かり。影かげて。退ひき退ひきと。も。信のぶ長ながこそ。ま。と。河か原はらあり。何なに者ものあり。ま。ま。と。も
 止とどり。予よ入い陣ぢんへ。と。後ごと。も。其その儀ぎあり。大だい軍ぐんあり。て。一ひと途と小せう推おし進すすと。と。も
 例れいと。と。教けう團だん指さし揮なり。と。も。ひ。攻せめ登のぼり。と。と。せ。ら。し。と。も。

繪本豊臣勲功記二編卷之九終

